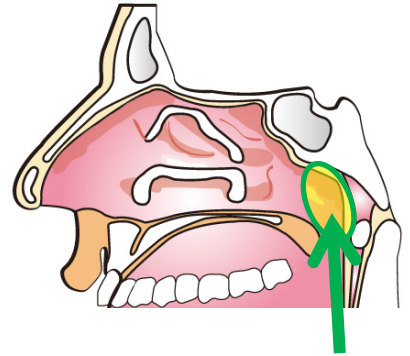


Bスポット療法 (EAT療法) について

【Bスポットについて】

Bスポットとは鼻とのどの間にある、のどちんこの裏側、子どもの頃にアデノイドがあった場所のことです。そこに、口の中から器具を用いて塩化亜鉛溶液を塗布する治療がBスポット療法です。(EAT療法とも言われます)

塗った後にしばらく続くヒリヒリ感を我慢して頂ければ、その後は爽快感が訪れ、免疫機能の向上によって、様々な疾患の改善効果が期待できます。



Bスポット

【Bスポット治療の効能】

- (1) 咽頭炎(のど風邪)、後鼻漏(後鼻漏感)、耳の違和感
- (2) 副鼻腔炎、鼻づまり
- (3) 免疫が関係するとされる、掌蹠膿疱症、IgA腎症
- (4) その他に、アレルギー性鼻炎、、自律神経失調症、めまい、耳鳴り、アトピー、喘息などに効果があるという報告もあり

【Bスポット治療をご希望の方へ】

- この治療は現時点では別途費用のご負担なく、通常の処置治療の範囲内で受けることができます。
- 1回だけでなく複数回治療を受けて頂くことで効果を発揮します。(通常、週1~2回のペースで、10~15回塗布します。)
- 薬を塗る際、率直に申し上げて「瞬間的に痛い」です。**

また、塗った後もしばらくヒリッとした痛みがありますが、これが効いていることの現れでもあります。

上記をご理解頂いた上で、治療をご希望される場合は、医師に「Bスポット治療も希望します」とお伝えください。

※Bスポット療法は従来の耳鼻科で行う治療法の補助的な位置づけです。

尼崎駅前耳鼻咽喉科のざわクリニック